

ジオパークとは？

ジオパークとは、地球のダイナミックな活動の遺産を主な見所とする、自然公園。

自然遺産だけではなく、地形地質をベースに育まれる豊かな生態系やそれら地域資源を活用してきた人間の営み、文化を見所とし、それらに親しみ、学び、自然との共生を考えるきっかけとなる場所です。

各ジオパークでは、その大地の成り立ちのストーリーを楽しむことができます。

阿蘇地域は、地域資源の保全、研究、またそれら資源を活用した教育プログラムやジオツーリズムが高く評価され、2014年、現在のユネスコ世界ジオパークに認定されました。（世界44か国、161地域、日本では9地域）

現在も継続的に、自然遺産を保護、活用しながら、持続可能な地域の社会経済発展へと育成し、環境問題等に関する教育、普及活動を行なっています。

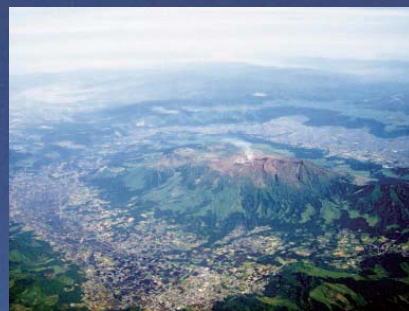
阿蘇ユネスコ ジオパークの特徴

阿蘇ユネスコジオパークは世界最大級のカルデラをつくりあげた巨大噴火の凄まじさを感じることが出来る場所です。カルデラの凹地をはじめ、外側に広がる火砕流の地形や、巨大噴火以降の火山活動によってできた中央の火山群など、カルデラ巨大噴火が理解できるほぼすべての要素が揃っていることが特徴です。

そしてカルデラ地形とともに、たくさんの人々が生きてきた歴史や文化を知ることが出来ます。

1.カルデラをつくった巨大噴火とその壮大さを知る

阿蘇火山は世界有数の規模を誇る阿蘇カルデラを有しています。巨大カルデラの形成は巨大噴火により生まれました。約9万年前の最大の噴火は北部九州を覆い尽くし、海を隔てた山口県まで流れました。火山灰は北海道網走で15cmの層となっています。世界の同種の噴火では、世界規模での寒冷化が確認されており、当時の地球環境に大きな影響があったと推定されています。



▲阿蘇カルデラ

2.地球の息吹を感じる中岳一帯

阿蘇カルデラを形成したあと、現在のカルデラ内の中央火口丘一帯が形成されました。米塚は約3,000年前の火山で阿蘇の中では活動中の中岳を除いて最も新しいものです。

草千里ヶ浜の湖は火口の跡とされています。

阿蘇中岳は現在も噴煙を上げる活火山です。中岳の噴火活動は一定のサイクルが見られ、活動が平穏の時には美しいエメラルドグリーンの火口湖(湯だまり)を火口の淵で見渡すことができます。

これだけの温度(平穏時約50～60℃)を維持している火口湖で、かつ淵まで簡単に行ける火山は世界でもきわめて珍しいものです。(火山活動により見学できない場合があります)



▲阿蘇中岳火口

3.火山の恵みと人間生活の歴史

阿蘇カルデラ内外には、鉄道や国道が走り、約7万人もの人々が生活しています。また、多雨地域である阿蘇は、中央火口丘や阿蘇カルデラの外輪山に降った雨が山麓で湧水となっており、阿蘇ユネスコジオパーク内には水源が多くあります。

阿蘇神社は火山の神を祀り、その歴史は阿蘇火山と深い関係があるなど、阿蘇ユネスコジオパーク内には火山とその歴史に由来する神社仏閣が点在しています。また、阿蘇の草原は千年以上前より形成されているといわれており、人々が長年野焼きや採草により景観を維持していて、その農業は世界農業遺産にも認定されるなど、特徴的なもので

す。活火山による噴火災害、火山灰土壌・急峻カルデラ壁による土砂災害、地震など、阿蘇特有の災害リスクもありますが、人々は災害から学び、復興し、この美しい地形とともに生活しています。



▲阿蘇の草原



◀阿蘇神社

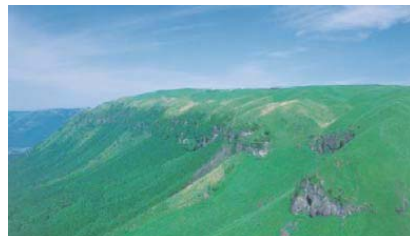
阿蘇ユネスコジオパークの魅力に迫るジオサイト

数十万年の時空を超える感動体験!阿蘇ユネスコジオパークには、この地域のもつ多様なテーマを理解する為に有効でかつ魅力的な33のジオサイトが存在します。その阿蘇の大地の成り立ちと人間生活を理解するサイトを一部ご紹介します。

大観峰カルデラジオサイト



世界有数の規模であるカルデラ地形を観察することで、その大地に刻まれた噴火の記憶を実感できるジオサイト。カルデラ形成当時の噴火の規模やその影響について考えます。



中岳ジオサイト



現在も活動を繰り返す火山から地球の営みを間近に感じるジオサイト。火山がつくり出している独特の地形や地層について理解を深められます。また、活動火口を崇める人々の文化についても学ぶことができます。中岳火口は、阿蘇観光の中心地で、活動的な火口を見物できる数少ない場所の一つです。中岳火口では、最近1,000年間は火山灰の噴出を中心と

し、活動期にはマグマ蒸気爆発やストロンボリ式噴火、静かなときには噴気活動と火口内に湯だまりを形成する活動が繰り返されてきました。



北外輪火砕流ジオサイト



多くの滝を始め、阿蘇火砕流が作る様々な景観を見る事ができるサイト。溶結凝灰岩の構造や火砕流の浸食によってできた

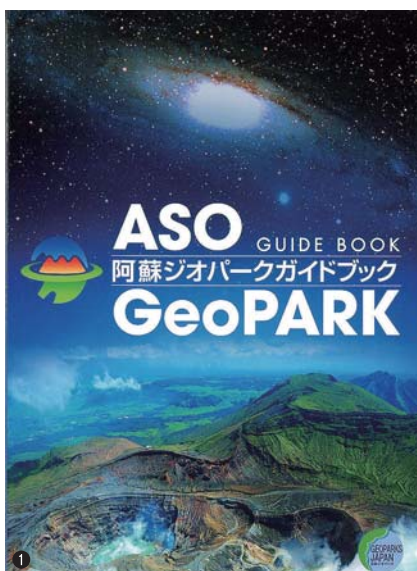
(写真左)は、筑後川の源流に位置し、地下の強大な岩盤とその断層が露出し、大小いくつもの滝と湧水に恵まれた美しい峡谷です。通常の水深は数10cm程度で、夏季には絶好の親水行楽地として親子連れなどで賑わいます。阿蘇カルデラ北方の小河川にみられる岩盤河床で、阿蘇火砕流堆積物の溶結凝灰岩で構成されています。

独特の景観など、阿蘇火砕流の特徴を知る事ができます。鍋ヶ滝(写真右)は、通称「裏見の滝」と言われ、滝の裏側から水が落ちる様を眺めることができます。滝の落下下部の裏側が奥行10数mにわたってえぐられているため、そこを人が歩くことができ、裏側から見る滝の姿はまるで水のカーテンのようです。阿蘇火砕流堆積物の溶結凝灰岩にかかる滝で、高さは約9m、幅は約25mあります。遊水峡



阿蘇ユネスコジオパークの活動について

- ①「生きている阿蘇」を実感できる、壮大な地球のストーリーを垣間見る場所としてガイドブックを作成しています。
- ②阿蘇ジオパークの見どころを「ジオサイト」として定義し、エリア内に33ヶ所設けています。
- ③解説板やパンフレットを用意し、阿蘇を何気なく訪れた方に、大地の成り立ちが分かるよう工夫しています。
- ④美しい風景看板やエリア内を周遊するバスラッピングでここがジオパークであることをPRしています。
- ⑤子どもたちの地域学習の舞台としても活かされています。



モデルコースやツーリズムガイド(ジオガイド)による案内



阿蘇ユネスコジオパークにはカルデラ内外に広がる5つのモデルコースを設定しており、半日から1日を掛けてそれらを巡り、阿蘇の成り立ちと文化を知る「ジオツーリズム」を楽しむことができます。より深くジオパークを楽しむには、専門に養成している「ジオガイド」の案内をお勧めします。ジオガイドは、阿蘇の地形

や人々の暮らしの特徴、文化などを幅広く解説します。阿蘇ジオパークガイド協会には約80名のジオガイドが登録しており、会議オプションツアーへの同行など、幅広く対応することができます。
ガイド料金(要相談)

13 気候変動に
具体的な対策を



【問い合わせ先】

阿蘇ジオパーク推進協議会(阿蘇ジオパークガイド協会事務局)

TEL/0967-34-2089 FAX/0967-34-2090

住所/〒869-2232熊本県阿蘇市赤水1930-1 阿蘇火山博物館1F

Mail/info@aso-geopark.jp

H P / <http://www.aso-geopark.jp>

F B / <http://www.facebook.com/AsoGeopark>

